

「第1回一宮市公共施設等総合管理計画策定有識者会議」審議会等モニター意見の概要と意見に対する考え方

番号	意見の概要	一宮市としての考え方
1-1	<p>有識者の中に、各公共施設の実際の専門家が不在の状況で審議することに疑問を感じる。実際に施設を管理運営している当事者の意見を徴集することなく審議を進めるのは少々強引ではないか。</p>	<p>有識者会議に諮る前に、各施設担当部局の職員を構成員とする内部会議で議論しています。</p>
1-2	<p>下水道事業には多額の負債があり、このまま下水道の整備を進めると破綻する可能性があります。そのような状況である下水道事業会計の収支を盛り込まずに計画を策定する意味があるのでしょうか。</p>	<p>下水道事業ではアセットマネジメント計画を策定し、維持更新費用の縮減・平準化により経営の安定化を目指します。公共施設等総合管理計画のフォローアップにおいては、今後も資産管理や経営の状況を把握していきます。</p>
1-3	<p>現在でも新規の公共施設の設置計画や工事が進められています。公共施設の新設はただちに打ち止めにする決断をしなければならない時期に来ている。また、利用者の少ない施設は、民間への売却をすすめ、少しでもキャッシュの確保をしていくことが必要であり、売却額が少なくても、将来の維持管理費等を考えると、施設の廃止を早期に実施していく必要がある。</p>	<p>ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
1-4	<p>人口、歳入、大規模改修や更新に係る経費を含む歳出の過去の実績値をグラフ等で示すべきである。</p>	<p>歳入、歳出の過去5年間のグラフを追加しました。人口については、今後の見通しのみ掲載します。</p>
1-5	<p>公共建築物は避難所等として活用される。防災の観点での議論が少ないと感じる。</p>	<p>公共施設等のあり方には、防災の観点も必要ですが、個別の施設の機能に関する事ですので、本計画では中心的な議題としては取り上げておりません。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>

番号	意見の概要	一宮市としての考え方
1-6	<p>本当にこの縮減目標でいいのか。財源不足問題の先送りになっているのではないか。</p>	<p>縮減目標値は、合理的と判断した方法により試算した結果です。計画策定後もフォローアップを継続し、必要に応じて改訂していきます。</p>
1-7	<p>5年後を目途に、適宜の見直しと内容の充実を図るとあるが、危機感や緊張感を持っているならば、毎年でも見直すべきではないか。</p>	<p>計画の改訂は、5年後を目途に行うということです。計画の進捗管理及び必要な措置は、毎年実施していく予定です。</p>
1-8	<p>具体的な統廃合案やスケジュールが提示されていないため実行性が疑われる。</p>	<p>計画は、全体の基本方針と、使用目的によって分類した施設類型別の方針を盛り込んでいます。個別の施設に関する方針は、計画策定後に別途検討していきます。</p>
1-9	<p>計画期間が10年間とあるが、統廃合による縮減は今後40年間の目標となっている。計画の進め方はどうなるのか。効果把握と評価はどうするのか。</p>	<p>施設の統廃合は、市民全体の合意形成や地元住民との調整等長期の時間を要します。計画期間である今後10年間においては、個別施設の計画策定を進めるなど、縮減策を検討していきます。また、計画の実行性を高めるため、専任部署を設置することとしています。</p>
1-10	<p>各施設の優先順位付けや維持費用を明確化し、実際に長寿命化と統廃合した事例を試算し、推進方策とその効果を検証すべきである。</p>	<p>全ての施設について、優先順位の確定や長寿命化・統廃合を検証するのは困難です。計画では長寿命化を図りつつ、維持していくことが可能な施設総量について検討しています。個別の施設に関する方針は、計画策定後に別途検討していきます。</p>

番号	意見の概要	一宮市としての考え方
1-11	<p>建築物の劣化診断、保全方法、長寿命化の施工方法・費用などを一宮市として技術ノウハウが蓄積できるように実施し、大手企業の持つ最新技術や全国の幅広い実施例などの情報収集に努めてもらいたい。</p>	<p>ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
1-12	<p>アンケートでは、未利用不動産の売却等の意見が一番多いが、それは目先の臨時収入に過ぎない。将来の都市計画事業等の換地や、公共施設の建替え用地として確保し、必要となるときまで市民が自由に利用できるようにすべきである。</p>	<p>未利用不動産の売却の際には、将来利用する可能性も含めて判断していきます。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
1-13	<p>スケート場やスポーツ文化センターは、取り壊して「空き地」にすることで朝市や七夕まつりなどに活用できる。総合体育館が建設されたので、木曾川体育館は建替え不要である。給食センターは、建替えせずに各学校調理にすべきである。</p>	<p>個別の施設に関する方針は、計画策定後に別途検討していきます。</p>
1-14	<p>グラフの色分けが分かりにくい。</p>	<p>見やすいよう色分けを修正します。</p>
1-15	<p>アンケートの人数と回収率を記載すべきである。</p>	<p>アンケート発送数、抽出方法、回収率等を追加します。</p>